

## NEWS 絆

## 東北生産性本部

## 2024年度 企業視察研修を開催

2024年度事業計画の東北地域の革新的な優れたサービスを学ぶ機会や会員相互の交流として、企業視察研修会を11月29日、10組織17名参加のもと、開催いたしました。今回は、福島県会津若松市のアルテマイスター株式会社保志、株式会社関美工堂（ヒューマンハブ天寧寺倉庫）、セイコーエプソン株式会社（彩会ノ蔵）を視察先として研修を行ってきました。

## 【アルテマイスター株式会社保志】



アルテマイスター(株)保志では、仏壇の製作について、原材料から加工し、商品の完成に至るまでの工程や仏壇のリメイクにより、元の仏壇を小さいサイズへ作り変える作業、古く汚れてしまった仏壇を綺麗にリフォームすることなど丁寧に説明いただきました。

最後に展示室にて、完成した仏壇を見ながら、幅広い価格帯になっている理由に驚きつつ、社員の方々から素材や工法による違いについて詳しく聞くことが出来ました。



## 【株式会社関美工堂 ヒューマンハブ天寧寺倉庫】



(株)関美工堂(ヒューマンハブ天寧寺倉庫)では、父から引き継いだ会社をリノベーションし、既存の工房や新たに調理用厨房を設置し、誰でも利用できるシェアリングスペースについて説明いただきました。倉庫の2階は、コワーキングスペースとして、一人用作業ブース、大型プリンターなど設置し、起業を目指す人たちの立ち上げをお手伝いしたいという熱い思いを聞くことができました。

表彰用の盾を考案し、今でも日本レコード大賞に使われているとの話を聞き驚きました。

また、今年10月にオランダの権威あるデザイン誌「FRAME」が毎年主催し、世界的に著名な建築家やデザイナーらが優れた空間デザインや建築、インテリアを選出しているデザイン賞「FRAME Awards(フレームアワード)2024」にコワーキングスペース部門でヒューマンハブ天寧寺倉庫が最優秀に輝いたとのこと。



大型の商業プリンターの設置も当初はリースとしていたが、その後、関美工堂が買い取り、起業家やイベント向けの利用として運営している。

## 【セイコーエプソン株式会社 彩会ノ蔵】

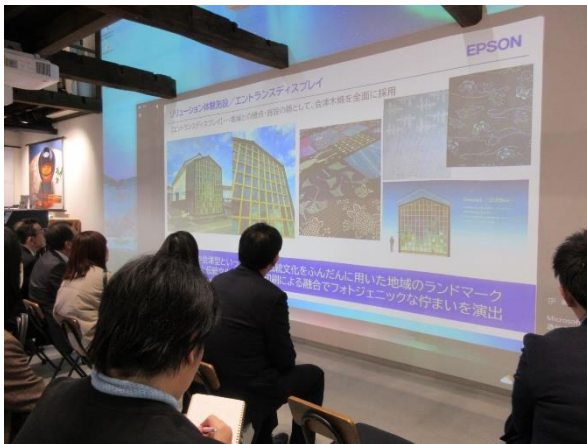
セイコーエプソン(彩会ノ蔵 Epson Living Lab. AIZU)では、市中心部で空き施設となっていた築100年を超える蔵をリノベーションし、最新の商業用プリンター、プロジェクターなどエプソンの最新技術や製品を活用し、地域の皆様と共に課題解決や新たなアイデアを創出する場として今年7月に開設した経緯を聞きました。

正面のディスプレイは、伝統文化の会津木綿と会津型(喜多方の染型紙)をデジタルプリントによる新たな表現で彩りを行ったとのこと。



仙台市青葉区中央二丁目九番十号

<http://www.t-productivity-ce.jp> HP 掲載中



建物内では、7.6m × 5.6m の大迫力のプロジェクション環境と蔵内部に吹き抜けを設け、見上げるほどの大画面により、エプソンの取り組みについて説明いただきました。

蔵内に設置されている商業プリンターや会津若松市の伝統文化・会津木綿へデジタルプリント製品や喜多方市の有形文化財・喜多方の染型紙「会津型」を用いたデジタル技術による商品などの展示について説明をいただき、地域と一体となっている取り組みやどんなものにも印刷出来るプリント技術を間近で見ることが出来て大変参考になりました。



## 2025年度 企業視察研修の予告

2025年度も東北地域の革新的な優れたサービスを学ぶ機会や会員相互の交流会を計画する予定としております。乞うご期待下さい。